

研修医の 日々。

9年間の経験を経て、これからのこと。

外科研修を終えて戻ってこられた葉山医師と
新しく後期研修を当院で始められる小池医師に現在の心境をお聞きました。

宮崎生協病院 外科
医師 葉山 雄大



こんにちは。外科の葉山です。医師9年目になります。

宮崎生協病院の初期研修終了後にもう1年間同院で内科研修を行いました。その後2年間は鹿児島生協病院で外科研修をスタートし、3年間は群馬の利根中央病院で外科研修を継続しました。

現在は当院に戻ってきて少しずつ環境に慣れてきたところです。今後は外科手術の件数を増やし、緊急対応もできるような体制を構築すること、また病院全体の医療の質を上げることができるよう提案していく予定です。

外科は手術を中心とした治療に携わっていますので、常にリスクを意識しての対応が必要です。癌の手術が特に中心になりますが、癌の治療の他にもやるべきことは多岐に渡ります。中心部にいけばいくほど専門化がすすみ、また高度な医療をされています。一方で地方では広い範囲をカバーしないといけませんので外科医に求められるものは多く、日々勉強しています。

縁があって群馬の山奥に行くことになりましたが、群馬の利根中央病院は近隣にスキー場が多いため、多くのスキー、スノーボード外傷をみることができました。また私のいる間に病院の移転がありましたので、救急車で何往復もし、患者さんを移送するなどなかなかできない経験もできました。

学生の皆さんもチャンスが来た時はよく考えてみることも大事だと思いますが、まだ若いので思い切って飛び込んでみるのもいいと思います。頑張ってください。

1年目研修医 導入期研修の様子



救急救命の練習



往診体験



2年目以降研修医の紹介

【2年目初期研修医】大野 由香子 医師

4~7月 外科(古賀総合病院)
8~9月 小児科(宮崎生協病院)
10月 地域医療(石川クリニック)
11月 地域医療(奄美中央病院)

【2年目初期研修医】谷口 彩鳥 医師

6~7月 小児科(宮崎生協病院)
8~10月 内科・外科(千鳥橋病院)
11月 救急(都城市郡医師会病院)

【2年目初期研修医】堀 竜太 医師

5~7月 救急(鹿児島生協病院)
8月 地域医療(徳之島診療所)
9~11月 外科(古賀総合病院)

【3年目後期研修医】松尾 裕樹 医師

宮崎生協病院で内科研修中

【3年目後期研修医】小池 隆登 医師

宮崎生協病院で内科研修中

【4年目後期研修医】井上 一利 医師

鹿児島生協病院(鹿児島県)で小児科研修

【5年目後期研修医】坂口 亮介 医師

宮崎生協病院で家庭医療後期研修プログラムの研修中

【6年目後期研修医】松田 隆志 医師

勤医協中央病院(札幌)で外科研修中

地域医療で見つけた、私の新たな目標。



3年目後期研修医
小池 隆登

私は民医連病院である群馬県利根中央病院で初期研修を終え、今年度から宮崎生協病院では後期研修医として働いています。

私の生まれた利根沼田地域は山に囲まれた人口9万人ほどの医療過疎地域です。そこで必要とされる医療は決して高度医療ではなく、そこに住む人を「活かす」ことのできる地域医療でした。

私は学生の時分から外科医を志し、初期研修でも外科を多くまわるつもりでいました。しかし先輩の外科医から「将来外科と決まっているなら、むしろ初期研修では他科をまわって多くのケースを経験したほうがいいよ」とアドバイスを受け、様々な科で研修を受けることにしました。

実際の現場で学ぶことは本当に多く、私は単純な医学知識よりも医者として患者さんという人生にどうやって介入していけばいいかを手探っていました。

地域医療研修では病院で治療した患者さんの家を訪れ、退院後どのような生活を送っているのかを見る機会もありました。当然、重い病気はその人の生き方に大きく影響します。病院の外での患者さんの姿こそが真の治療の「結果」であると気づいたとき、私は新たな目標を見つけました。

地域の中でそこに住む人々に真に必要な医療とはなんなのか、それを見つけ提供するにはどうすればいいのか。

これから宮崎生協病院で人を活かすことのできる医療を学び、宮崎の人々に貢献したいと思っています。